

日本の戯曲研修セミナー in 大阪 2022

田中澄江

# 『月夜の新聞』

を読む

リーディングとディスカッション

9月9日（金） 18時30分～20時30分

研究者によるレクチャーとディスカッション

9月10日（土） 14時00分～17時00分

ディスカッションパネラーによる  
演出プランのプレゼンテーションとシンポジウム

9月11日（日） 14時00分～17時00分

会場

未来ワークスタジオ

大阪市城東区成育一丁目4-25

日本の戯曲研修セミナーとは

「日本の戯曲研修セミナー」は日本の一特に名作と言われる「戦前戦後の戯曲、劇作家を取り上げ、戯曲の読解や演出方法を考える、誰でも参加できる開かれた企画です。現代の小劇場では、作家と演出家が同一である場合が多く、創作作品が主流であるため、若い演出家が過去に書かれた戯曲に触れる機会が少ないことから、人材育成としても有意義な企画となっています。今回は、二〇二一年度に取り上げた田中千禾夫の伴侶であり、女流作家として重要な田中澄江を取り上げ、『月夜の新聞』を題材とします。

企画概要

俳優によるリーディング公演、研究者によるレクチャーを経て、ディスカッションパネラーの若手演出家三名が、ディスカッションを通じ「もし自分が当該戯曲を演出するとしたら」の演出プランをプレゼンテーションします。参加者は、会場に來場しての対面式または ZOOM を使ったのオンライン方式で、戯曲から演出プランが立ち上がる過程を見、質疑応答などを通じて、創作方法を学びます。人材育成、演劇文化の促進を図ります。

文化庁委託事業「令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」



主催 文化庁 / 一般社団法人日本演出者協会

企画 一般社団法人日本演出者協会関西ブロック

制作 一般社団法人日本演出者協会